

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	プロッサムジュニア上越春日新田教室				公表日	R7年 4月 15日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	83%	17%	・時間やグループで分けて活動している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	83%	17%		<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちには階段の段差が高く、外階段が雨や雪等で濡れていると滑りやすいため危ないことがある。 もう少し自由遊びが伸び伸びできるスペースがあるといいと思う。 構造上の問題解決は困難だが、段差がある場所についてはご利用者様の障害特性や発達段階に合わせてその都度職員が声を掛け合って安全に活動できるように対応していく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	・日々清掃や消毒をおこなっている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%	0%		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	50%	50%		<ul style="list-style-type: none"> 外部評価は行っていないと思う。 よりよい業務を進めていくために総務と相談して改善を図っていく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	・法人内の研修だけでなく、外部研修も積極的に受講した。	
	11	支援プログラムを作成、公表に向けて動いているか。	100%	0%		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画（個別支援計画）を作成しているか。	67%	33%		<ul style="list-style-type: none"> 適切なかどうか判断できない。 発達検査の結果がより反映されると良い。 充実した児童発達支援計画（個別支援計画）を作成するために、職員の専門性を活かした意見を取り入れていく。
	13	児童発達支援計画（個別支援計画）を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	67%	33%		
	14	児童発達支援計画（個別支援計画）が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	50%	50%		<ul style="list-style-type: none"> 標準化されたツールを使用していない。 職員で共通したツールを使用してアセスメントしていきます。また、職員の専門性を活かし、アセスメントに反映されるようにする。

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画（個別支援計画）には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画（個別支援計画）を作成し、支援が行われているか。	100%	0%		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%		
	21	支援終了後には、職員間で行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画（個別支援計画）の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	83%	17%		・長期休暇等、時間が取れず適切な見直しができていることがあった。時間が取れない時は、早めに見直しを行う。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	67%	33%	・モニタリング時や学校からの連絡で情報共有を行っている。	・共有した内容を全職員にもフィードバックしていく。
	28	管理者・児童発達支援管理責任者が地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設け、職員間で情報を共有しているか。	50%	50%	・こども発達支援センターが主催する研修に参加した。	・研修内容を全職員にもフィードバックしていく。
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	67%	33%	・地域のイベントに積極的に参加している。	・事業所内の夏祭りや、地域のこどもにも声を掛けるなどは話題に上がったこともあるが現状は難しい。 ・今後も地域のイベントを通して他のこどもと交流や活動をしていく。
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%		
31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	33%	67%		・職員一人一人のスキルを高め、家族支援ができるように努めていく。 ・今後、保護者が必要とするなら機会を設けていく。	
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%		
	33	児童発達支援計画（個別支援計画）を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	83%	17%		・個別療育を保護者様に見学していただき、面談以外でも意向を確認する機会を設けていく。
	34	「児童発達支援計画（個別支援計画）」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画（個別支援計画）の同意を得ているか。	100%	0%		

保護者への説明等	35	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	67%	33%		<ul style="list-style-type: none"> 定期的かは分からない。 必要な助言は伝えているが、面談ができていない。 定期的な面談を行い、面談内容を職員に共有する。また、児童発達支援管理責任者だけでなく、専門職員（保育士、公認心理師等）も面談を行い、多職種で連携していく。
	36	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	17%	83%		<ul style="list-style-type: none"> 定期的に保護者会が開催できるよう、計画していく。
	37	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%		
	38	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%		
	39	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%		
	40	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%		
	41	事業所の行事に地域住民を招待する、地域のイベントに参加する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	100%	0%		
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	50%	50%		<ul style="list-style-type: none"> 事故や緊急時感染症対応の実質的な訓練が必要と思う。 マニュアルが周知されていない、訓練を行っていない。 実際に訓練を行うのが難しく、その場面を想定して保護者様と共有をしていく。
	43	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	83%	17%		<ul style="list-style-type: none"> 火災時、階段の利用が困難な場合を想定した訓練が必要と思う。 定期的に訓練を行い、職員全員が参加できるようにする。
	44	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%		
	45	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	83%	17%	<ul style="list-style-type: none"> 対象者がいないが、対応できる体制を整えている。 	
	46	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	67%	33%	<ul style="list-style-type: none"> 安全に配慮し、療育を行っている。 支援開始前の打ち合わせで、考えられる危険をシミュレーションし、職員間で対応を共有している。 	<ul style="list-style-type: none"> 安全計画を見直したり、確認、周知する機会を設ける。 定期的に訓練を行う。
	47	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	67%	33%		<ul style="list-style-type: none"> 保護者様への周知が十分ではないので、面談等で説明していく。
	48	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%		
	49	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%		
50	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画（個別支援計画）に記載しているか。	67%	33%		<ul style="list-style-type: none"> 児童発達支援計画（個別支援計画）に記載していないため、記載する。 	